

聖書宣教会通信

東京都羽村市羽西 2-9-3 Tel:042(554)1710 Fax:042(554)5562 www.bibleseminary.jp 振替 00150-6-34971

巻頭言

「信仰に立つ～神を知る歩みを～」

聖書宣教会教師 赤坂 泉

同じ場面に立って同じ事実を見ているのに、喜ぶ者があり、悲しむ者がある。打ちのめされる思いに沈む者もあれば、勝ち誇る者もある。何がこうした多様な反応をもたらすのだろうか。

カナンの地を偵察するように任じられた 12 人は、40 日かけてその任務を忠実に果たした（民数記 13：17～20）。土地の豊かさ（13：27）、住民の様子（13：28、29）について正確な報告をするまでは彼らは一致していた。ところが、一緒に見てきた同じ事実をどう評価するかでは大きな違いを見せる。カレブとヨシュアは前進を主張する。困難を直視しつつ、なお、神への信頼に立ったからである。しかし、他の 10 人は、その地の住民が力強く、城壁のある大きな町々に住んでいるという同じ事実を「あの民は私たちより強いから」と評価して、攻め上れないと判断する。

12 人は族長たちであって、神を親しく知っている者たちである。エジプトでの数々の神のみわざ、エジプト脱出という事実、葦の海での奇跡等、神の介入の目撃者である。彼らは、会衆のつぶやき、主に対するそむきを目の当たりにし、そこでも示され続けた神のあわれみを経験してきた。続くシナイ山での主との契約、会衆の体制の整備、幕屋の建設、一年目の過越、人口調査、そしてカナンを目指しての出発等、一連の出来事の当事者である。神がどのようなお方であるか、神のみこころも、神の御力も十分に知らされている者たちである。

しかし 10 人は、カナンで目撃した事実を評価するに際して、彼らの知っているはずの神への信仰に立たなかった。自分たちの恐れや直感に拠って評価し、判断して、しかも、それを「言いふらす」ことまでしてしまう。信仰に立たなかった彼らは、神に背いてカナンの地の祝福を

手放し、同胞にも神のさばきを来らせてしまった。

ここで気がつくことは、直面する事実が、そのまま直接に私たちの行動を定めるのではないということである。事実そのものではなく、それをどう評価するかが私たちの言動の方向性を決めるのである。

私たちは、信仰者としての各々の歩みにおいても、キリストのからだとしての歩みにおいても、このことをよく覚えていたい。私たちの直面する事実は全く多様である。予期せぬ困難に出会うこともあれば、非難や中傷に直面したり、不条理な苦しみに圧倒されることもある。また、自分の計画や期待を越える神の大きな恵みを受け取ることもある。それらの事実を私たちがどのように認識し、評価するかに注意を払いたいのである。私たちは人間的な基準で判断して恐れて退くこともできれば、神への信頼と信仰に立って平安を見出すこともできる。そのところで、私たちが信仰をどのように働かせるかが問われる。

信仰に立つとは、単に神の存在を認めることにとどまらない。神のご性質、神のみこころを真に知り、知ったところに拠って、ものごとを見て評価、判断することである。神に対する全面的な信頼を告白することであり、そのような告白を基準としてものごとを評価し、そこで決断することである。だからこそ、私たちは真に神を知り、みこころを知ることを追求したい。知ったところに即して、私たちの評価、認識において信仰を働かせ、信仰に立った選択と行動に徹したい。そこに備えられる主の恵みの祝福を期待しながら。



聖書宣教会校長 鞭木由行

聖書宣教会を覚えていつも支援してくださる諸教会、諸兄弟姉の皆様、卒業生の皆様。暦の上では立春を過ぎ、かすかに春の香りをかぐことができる季節となりました。お変わりなくお過ごしのことと思います。学舎から最近の様子をお知らせ致します。

卒業への準備

2009 年度も終わりが見えてまいりました。今年度は、6 名が 4 年課程を選択し、1 名が 3 年課程を選択し、合計 7 名の卒業予定者がおります。卒業予定者は全員卒業論文と卒業研究をすでに提出し、現在はその試問が行われている時期です。また恒例の卒業説教も開始され、チャペルに外部からのお客様を迎える機会が多くなっています。卒業後の進路も全員がほぼ決まっており、2 月 25 日の卒業判定会議を経て、卒業が決まります。今年度の卒業式は 3 月 15 日（月）です。そこで多くの方々と再会できますことを今から楽しみにしています。

新入会生

新年度に向けた入会者も気になるところです。2 月 6 日が願書の締め切りで、15 日に入会試験と面接が持たれます。この通信がお手元に届くころには最終人数が確定していると思いますが、現段階で入会願書を提出しているのは本科 14 名、聖書科 1 名です。昨年、入会者が少なかった欠けを補う人数ですが、最近はこのように学年毎に人数の「でこぼこ現象」が続き、できれば平均化されることが好ましいのですが、こればかりはやむを得ません。でも一年間「収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるように」と祈った結果ですから、喜んで対処していきたいと考えています。ただ、一度に多数の新入生を迎えると、継続性の面での対応も必要だと考えています。新年度は 4 月 6 日（火）が入会式となります。新年度から浜田山キリスト教会牧師である奥田健一先生（38 期）

が、旧約各書の授業を担当して下さいます。新年度への体制が整うようにお祈りください。

夏期研修講座と教会音楽夏期講習会

聖書宣教会に遣わされて分かったことは、いつも半年から数年先のことを考えなければならないということです。すでに今年の夏期研修講座と教会音楽夏期講習会の準備が始まりました。案内を是非ご覧いただきたいと思いますが、教会音楽夏期講習会は「礼拝と会衆賛美」を、夏期研修講座は「聖書における『霊』の働き」をテーマに掲げています。昨今いろいろな「霊」の働きが話題となる中で、今回はただ聖書から「霊」の問題を考えてみよう、ということになりました。それと同時に、今年はギリシャ語とヘブル語の復習を願っている方々のために、14 時間に及ぶ集中コースを設けることにしました。せっかく学んだ語学をもう一度磨いて、みことばの奉仕に役立てて頂きたいという願いからです。一昔前と違って、いまは聖書語学を学ぶために、コンピューターを始め多くの補助手段がありますので、その活用も考えたいと思っています。

感謝

さて、最後になりましたが、私の眼の手術のことで皆様にご心配をおかけして申し訳ありませんでした。網膜剥離というのはボクサーでもない自分とは無縁の病と独り合点していましたが、入院して意外と身近な病であることを知りました。幸い、手術後の経過は順調で、視力も元に戻りました。皆様のお祈りに心から感謝致します。

続けて聖書宣教会のためにお祈りください。特に年度の変わり目に変化の多い時期ですが、新しい年度への移行がスムーズに行くように、そして主のみこころから外れることがないように、お祈り頂ければ感謝です。

「沖縄で思うこと」

17 期卒 狩野和義 (JECA 馬天キリスト教会牧師)

1978 年、30 歳で沖縄へ。今年開拓 32 年目で、人生の半分以上ウチナンチュ。東京の母も移住し、沖縄で夕暮れの輝きを放っている。妻の故郷伝道に付き合わされて来たヤマトンチューの私を、暖かく受け入れて下さった方々や、受け入れざるを得なかった方々に心から感謝。冒険の多い自給伝道は、無から有の神さまの奇跡の数々を体験。3 年前の 2 度目の献堂も、主御自身の御手の業を実感。主に在る喜びと幸いな人生を覚える度に、神学舎での学びと訓練の恵みは大きい。妻や母も聴講の恵みを感じた。

未知の世界だった沖縄で、しばらくは伝道・牧会と 3 人の子育てで無我夢中。元々、他者の立場で考える事に疎い私が、1995 年の県民総決起大会に、押し出されるかのように妻と 2 人で 5 歳の娘の手を牽いて参加。当時の太田県知事が、「少女の尊厳を護れなかった事を心の底からお詫びしたい…」と詫びた。衝撃が残っている。日米安保の下に、基地在るゆえの多くの事件、事故に心が痛む。

沖縄の地上戦の悲惨に加えて、米軍基地の弊

害はひど過ぎる。普天間飛行場も銃剣とブルドーザーで強制接収され、国際法上も違法。世界一危険な飛行場と言われている。「大江さんとか声を出してくださると良いねー」と妻が言った翌日の新聞に、『大江健三郎氏や宮本憲一氏ら県内移設反対声明識者 340 人』の記事が、2010・1・18 参院議員会館での写真入で。1 月 30 日、日比谷公園で名護市長選の結果を民意として、辺野古への移設反対全国集会に 6000 人が日米地位協定の見直しを求めた、との記事に励まされる。

世界や歴史を支配し導いておられる主権者の神に聴き従い折り求めつつ、現実の様々な課題に向き合いながら主にお仕えしたい。

『何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。』(ピリピ 4:6)

参考 沖縄県民総決起大会・JECA フォーラム 64

『戦後 60 年と沖縄の基地』狩野悦子

図書館だより

図書館長 津村俊夫

聖書宣教会の図書館の目指していることの一つは、すでに図書館にある情報が無駄なく十分効果的に活用出来るようになることです。市販の立派な検索ソフトがあり、必要な情報が載せられている本や雑誌の場所が一瞬のうちに分かっても、その殆どの本や雑誌は日本国内のどこにもないことが多いのです。しかし、図書館内をよくよく調べて見ますと、すぐ足もとに類似した情報があります。

多くの場合は、それまで必要と置いていなかったために、その存在に全く気付いていなかっただけです。あるテーマについての論文リサーチをして書架を探しているときに、その時に、正に、丁度必要な本が目の前に並んでいたという経験をすることがあります。前からソコにあったのですが、自分では全く気がついていなかったのです。

しかし、電子ブックが増えてきますと、書架を見て行くだけでは必要な情報にたどり着くことは出来ません。目に見える従来型の本は、図書館にあるかないか、誰かが借り出していないかどうかを比較的簡単に確かめることが出来ますが、電子ブックの場合、コンピュータで検索しなければ分かりません。

電子ブックを従来の蔵書目録といかに連動させるか、これは今日の図書館にとっての大きな課題です。この度、約 1 千冊の電子ブックが図書館に与えられましたが、従来の蔵書検索のソフトでそれらの検索もできるように、現在、卒業生の K 先生が、パートタイムで奉仕してくださっています。引き続き図書館のためにお祈りください。

2010年度 聖書宣教会講座案内

2010年度は次のようなプログラム、講座を予定しています。5月8日(土)、11月6日(土)のオープンデイを始め、聖書講座、教会合唱講座はどなたでも参加できます(オープンデイ以外は要申込)。お待ちしております。

オープンデイ —5月8日(土)—

	I~II (8:20~10:00)	(10:05~ 10:35)	III~IV (10:50~12:30)
1年	教会学I (序論) (赤坂 泉)	ギリシャ語 (初級) (横山昌英)	旧約通論 (久利英二)
2年	旧約緒書 (松本任弘)	チャペル (赤坂 泉)	新約原典講読 (岡本昭世)
3年	組織神学V (経済論・教会論) (鞭木由行)		新約各書II (岡本昭世)
4年	中間時代史 (久利英二)		旧約釈義II (津村俊夫)
			アラム語 (鞭木由行)

(上記内容については、当日変更となる場合があります。)

第36回 夏期研修講座

期 間：7月6日(火)~8日(木)
 会 場：奥多摩福音の家
 対 象：牧会者とその配偶者
 テーマ：「聖書に見る『霊』の働き」
 昨今、色々な「霊」の働きが話題となる中で、今回はただ聖書から「霊」の問題を考えてみたいと思います。今年はギリシャ語とヘブル後の復習コースも設けます。また、奉仕の現場を離れて同労者と心ゆくまで交わりのときを持っていただきたいと思います。
 講 師：鞭木由行、横山昌英、内田和彦、遠藤勝信、津村俊夫、松本任弘、赤坂泉
 礼 拝：久利英二、鞭木由行

(このほか、聴講制度があります。詳細は事務局まで)

第26回 教会音楽夏期講習会

期 間：7月29日(木)~31日(土)
 会 場：聖書宣教会(宿泊は近隣の「玉川苑」)
 対 象：聖歌隊員、聖歌隊指導者、奏楽者、独唱者等、礼拝や教会の諸集会で音楽の奉仕に携わっている方、および奉仕の準備をしたい方
 テーマ：「みことばと音楽」 — 礼拝と会衆賛美 —
 内 容：講義 [I: 聖書にみる礼拝賛美 II: 教会について III: 詩篇103篇]
 講義と演習 [I: 賛美歌 II: リードオルガン・ピアノによる奏楽、オルガンレジストレーションと選曲、ことばをうたう III: 会衆賛美]
 分科会 [聖歌隊指導法、歌唱法、声楽、オルガン、作曲(入門)]、合唱、教会音楽の夕べ
 講 師：聖書宣教会教師・講師

聖書講座 (金曜日 10:30~12:10)

前 期：「みことばと音楽」(石川由紀子)
 4月9日~10月8日(15回)
 於 ぶどうの樹キリスト教会(四ッ谷)
 後 期：「エレミヤ書」(奥田健一)
 10月~3月(15回)

教会合唱講座 (火曜日 19:15~21:00)

前 期：「賛美：会衆賛美、奏楽、聖歌隊」
 (飯島千雍子、遠藤かおる)
 4月13日~10月12日(9回)
 於 立川駅前キリスト教会
 後 期：10月~3月(9回)

2010年度 聖書宣教会主要年間予定

2010年

4月6日(火)	入会式	10月26日(火)	後期開始
4月9日(金)	前期開始	11月6日(土)	オープンデイ
5月8日(土)	オープンデイ	11月17日(水)	祈りの日
5月26日(水)	祈りの日	11月27日(土)	第28回賛美礼拝
6月4日(金)~6月5日(土)	特別講義	12月15日(水)~1月4日(火)	クリスマス調整期間
7月4日(日)~8月27日(金)	夏期調整期間	2011年	
7月6日(火)~7月8日(木)	夏期研修講座	1月5日(水)	後期再開
7月29日(木)~7月31日(土)	教会音楽夏期講習会	2月11日(金)	信教の自由を守る日
7月中旬~	キャラバン伝道	2月14日(月)	入会試験
9月1日(水)	前期再開	2月19日(土)	教会音楽のひとつき
10月13日(水)	前期終了	3月8日(火)	卒論発表会
10月14日(木)~10月25日(月)	秋期調整期間	3月12日(土)	後期終了
10月19日(火)~10月20日(水)	リトリート	3月14日(月)	第52回卒業式

編集後記

卒業、入会の季節です。主の畑に送り出す喜び、新たな献身者を迎入れる喜びと、何重もの喜びの季節はまた多忙のときでもあります。諸事に追われて主から目を離すようなことがないように祈りつつ、また皆

さまに祈られていることを感謝しつつの歩みです。

読者の皆様と教会にも、節目の大切なときに、主の特別な顧みと祝福がありますように。(A)